



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 **第46週報 No. 1793** 2013年(平成25年) 6月21日 第1793回例会記録 6月28日発行

司会 山本 芳弘 副幹事

結婚記念日祝 伊東 英紀 会員 (6月24日)

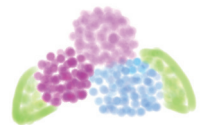
点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「それこそロータリー」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 保坂 一成 様 (入会候補者)
村田 朋仁 様 (入会候補者)
帯川 智弘 様 (入会候補者)

ビジター紹介 横浜北 R.C 森田 倣弘 様



本日〈6月28日〉のプログラム

年度末夜間例会

会長報告

飯田 泰之 会長

・ 6 月度定例理事会報告



吉田次年度ガバナー補佐へ支援金贈呈

幹事報告

西山 潔 幹事

・ 本日、例会終了後にクラブ協議会を開催致します。

場所 5階 ジュビリーⅢ

・ 次週例会は年度末夜間例会となります。

スマイルボックス

河野 明光 副SAA

横浜北R.C 森田倅弘様 本日はお世話になります。

伊東英紀君 ①結婚祝い、ありがとうございます。40年経ちましたが、未だ新婚気分。②昨日はSAA引継ぎの皆様、ありがとうございました。

西山 潔君 入会候補者、帯川様、保坂様、村田様、ようこそいらっしゃいました。今後も楽しくお会い出来ることを願っております。

飯田泰之君 入会候補者の帯川智弘様、保坂一成様、村田朋仁様、ようこそいらっしゃいました。ロータリークラブの雰囲気を楽しんで下さい。

田邊正彦君 ①久しぶりに例会に出席させて頂きました。②横浜北R.C 森田様、ようこそおいで下さいました。

青柳 紀君 飯田丸、一年間ご苦労様でした。年末調整です。(次週は欠席です)

山本 登君 所用にてクラブ協議会を欠席致します。

伊澤政宏君 本日のクラブ協議会に出席出来ずごめんなさい。

山田正憲君 先ほど、キャメロット前で、傘を振り回し人に殴り掛かっている人がいました。通り魔のようで怖かったです。

茂木知子さん ～やはり手が早い～ 5月の夜間例会の際、回覧で回った絵本の写真をフェリス女学院に届けてほしいという河野PPからのアドバイスがありました。回覧で回った写真を探しましたが見当たりません。散々探しましたが、なんと、すでに白鳥会員のポ

ケットに収まっていた。写真のありかを聞いた次期、新世代委員長の角田会員の感想、「白鳥さん、さすが手が早い！」。

赤堀和人君 ①今日、TVで自分と同じバカをした芸能人がいました。それは、先日、友人の社長が交通事故で病院に運ばれました。私は急いでいたこともあり、看護師に「C I A」はどこですか?と聞くと、男性看護師は「それはアメリカじゃないですか?」と言ってきました。横にいた女性看護師は笑いながら「I C U」ですよ?と行ってきて初めて気づきました。②村田さん、保坂さん、帯川さん、楽しんで下さい。

横溝 亘君 昨日のSAA新旧引継ぎ会出席の皆様、ありがとうございました!!河野さん、石川さん、お二人のお話はとっても勉強になりました。楽しかったです。

矢野修二君 昨日、SAAの引継ぎでお集まりの皆様、雨の中ご苦労様でした。横溝さん、まだ終わっていませんが、一年間ありがとうございました。

河野明光君 “赤いタスキの似合うロータリアンになりたい”と入会時から思っておりましたが、今年度、念願を果たすことが出来ました。“副SAAならばいつの年度かもう一度やってもいいかな。”と思うこともあります。今年度、たくさんのスマイルにご協力頂き、感謝申し上げます。

6月21日	14件	38,000円
本年度累計		2,183,750円

≡ SAAより ≡

皆様 今年度も残すところ夜間例会1回となりました。今年度も皆様のご協力でスマイルをたくさん頂戴致しましてありがとうございます。目標予算ももう少しということで、最後の例会に期待を寄せております。

さて 今年度当初にお話を致しましたベストスマイル賞ですが、月ごとの発表が滞りまして、大変申し訳ございません。

スマイルレポート上で、笑い・涙・情報・ウイットに富んだスマイルをチョイスし判断させて頂き、年間ベストスマイル賞を私の独断と偏見?によりまして決定させて頂きました。

その結果、

茂木会員より頂戴致しましたスマイルより年間10回。

河野会員より頂戴致しましたスマイルより年間5回。

以上2名の方のスマイルがとても素晴らしく、年間ベストスマイル賞を10回の素晴らしいスマイルを頂戴しました茂木会員に決定させて頂きました。

年度末夜間例会にてベストスマイル賞の賞品を贈呈させて頂きます。

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	41名	(30+11)名	
出席率	85.42%		
ゲスト	3名	ビジター	1名
前回補正後	81.63%	前々回補正後	87.50%

卓 話

「年度末挨拶」

◆会長 飯田 泰之



皆様、こんにちは。

昨年の7月6日に、加藤仁昭直前会長より、認証状を引き継ぎ、神奈川東ロータリークラブ第37代目の会長を仰せつかりました。

2012年～2013年は、日本で30年振りに三人目の田中作次国際ロータリー会長が第2770地区八潮R.Cより誕生致しました。今年のRI会長テーマ「奉仕を通じて平和を」に始まり、第2590地区の露木雄二ガバナーの「EXCITE2590」の地区方針を基に、クラブテーマは「調和」バランスとしました。この「調和」を選択したのは、東日本大震災の後遺症、日本経済の低迷、政治不信等により、混沌とした時代だからこそ、益々人々の結束が求められて、平静さを保つバランス感覚が必要なのではと考えまして、選定に至りました。

この一年間のロータリー活動の総括も含め、顧みますと、今年度はガバナー方針の一つであります「ロータリーをもっと知ろう」のテーマのもと、7月だけで、地区委員会、及びセミナーが5回開催されました。

8月には、今年度のクラブ強調推進項目の一つであります「卓話時間の充実化」の手始めに、大震災後、防災に対する意識が国民全体に高まる中、小山市康プログラム委員長の努力の結果、「気象台が発表する防災気象情報」と題し、横浜気象台台長の萬納寺信崇様

の卓話で、タイムリーなスタートを切りました。同月24日には、第2590地区第4グループ中川成美ガバナー補佐の公式訪問、及びクラブ協議会が開催され、高い評価を受けました。

9月には、第2590地区露木雄二ガバナー、第4グループ中川成美ガバナー補佐の公式訪問がありました。第4週は 樋口明地区新世代奉仕委員長による卓話を実施されました。

10月7日、恒例の反町公園での区民まつりでは、午後2時過ぎまで雨が残る中、OWOPの鈴木一男会長はじめ、同志社女子大学、京都光華女子大学の生徒さんたちによる紙芝居参加等により、チャリティ募金の浄財が予想をはるかに越えました。参加会員のパワーと団結力には、ただただ感謝する次第でした。

同月、中川成美ガバナー補佐の尽力により、久々に当クラブより吉田副会長が次年度ガバナー補佐に正式任命されて、明るい材料となりました。

11月には、長年、絵本の翻訳に携わっていますフェリス女子中学、高等学院に感謝状を贈呈しました。丁度、同校の学園祭に間に合い展示され、多くの生徒、父兄の目にとまりました。9日には今年度の地区大会本会議がパシフィコ横浜会議センターで開催され、当クラブ会員の皆様にも多数参加頂き、お礼申し上げます。また、30日には、長井章職業奉仕委員長による優良職場訪問が実施され、独立行政法人海洋研究開発機構を見学し、深海底の地質調査研究は昨今の地震災害の関係上からも、参加会員に強いインパクトが与えられました。

12月8日～13日迄、13年振りにスリランカへOWOPの鈴木一男会長同行のもと、我クラブより小池将夫（PP）職業分類・会員選考委員長、植田清司環境委員長、白鳥厚夫国際奉仕委員長、矢野修二副SAA、飯田の5名で、井戸の視察と井戸完成開設式典に立会いの為、行って参りました。ただ、漫然と資金援助するだけに留まらず、大事な会員の浄財故に、現状認識と視察が重要と考えました。同月23日には、恒例の年忘れ家族会が開催されました。近年に無い、アットホームな雰囲気の中での関東学院生徒による、ハンドベル演奏や会員有志によるケロックバンド演奏等、手作りの家族会となり盛大なうちに終了しました。

2月1日には、神奈川R.C・神奈川東R.C合同賀詞交歓会が当クラブ幹事主催で、開催されました。第2590地区第4グループ中川成美ガバナー補佐がゲストで新年の挨拶をされました。23日～24日には、先に今年度も、東日本大震災被災地の七ヶ浜町に継続して支援するかアンケートをとり、大勢が支援継続に賛同とのことで、七ヶ浜ロータリークラブ創立20周年記念式典に参加訪問しました。

支援金は、ふるさと納税へ111万円、震災被災者鎮魂碑建立資金に、反町公園での地区まつりチャリティ浄財金から50万円を寄贈しました。

3月7日には、鶴見区民文化センターサルビアホールにて、第2590地区第4、第5グループ合同（第4G主催）IMが開催され、当クラブからも多数の会員に参加頂き、お礼申し上げます。同月22日には、マレーシア・ルーヤンR.C総勢25名が公式訪問され、合同夜間例会となり、対等な関係を維持発展するよう確認しあい、盛大な歓迎会が開催されました。

5月19日の春の家族会は「南房総の旅」と題し、健康的な一日を過ごしました。親睦活動委員会の皆様ご苦労様でした。

6月8日には、今年度最後のイベント“ほたる鑑賞会”が開催さ

れました。水資源、水環境を再考すべく、植田清司環境委員長はじめ、委員会の皆さん、ご苦勞様でした。ローターアクトクラブ2クラブ、ほかゲスト含め、50名余の参加となりました。

結びに、今年度特筆すべきは、まず会員減少でした。退会者一人ひとりのやむをえない事情があったとしても、R I会長、第2590地区ガバナー、クラブ方針いづれも増強の年度推進項目が達成出来なかったことは、率直に会長の不徳の致すところとであります。期末に4人の入会予定者が出たことは救いです。

良い事柄では、角田伯雄親睦活動委員長には、本年度スタートしてから、前任者からの引継ぎも無く、期半ばから、全親睦活動計画を練り直し、実践されました。

地区への委員長再登録ほか、本当にご苦勞様でした。

森永健会報委員長には、ロータリーニュース記事はじめ、全体の構成のまとまりも良かったです。また、小池将夫P Pには、四季折々の題材の写真をタイムリーに提供頂きました。改めて感謝致します。

事務局の田中さんには、期末までご苦勞さまでした。

この一年間、会員の皆様には、温かいご支援ありがとうございました。

◆副会長 山田 正憲



主にクラブ奉仕を担当し会長・幹事の補佐をしなければいけない立場であったにもかかわらず、あまりお役に立てなかったような気がします。毎年予期していない出来事が起こるクラブ運営も会長・幹事の果敢な行動ですばらしい対応をされたことに敬意を表します。担当の委員会の活動を注意深く観察するとともにその活動を温かく見守ることに専念した一年間でした。

そして、今年度は委員会の事業直前に親睦委員長の交代という前代未聞の出来事にもかかわらず、角田委員長をはじめとする親睦委員会の皆様のご尽力により事業を無事遂行することが出来ました。また、テーブルミーティングや例会をはじめとする各種事業を通して、会員及び会員家族相互の融和が図れたのも皆様のご協力のおかげと深く感謝しております。

最後になりますがこの一年間の経験を通し、会員それぞれが更なる充実したロータリーライフを過ごしていくことを祈念致します。

◆副会長 吉田 隆男



飯田会長、西山幹事年度も、来週の夜間例会を残すのみとなりました。加藤直前会長から飯田会長へ認証状の引継が行われてから、もう一年も経つのかと時間の早さには驚くばかりです。

様々な活動が行われましたが、1つはR 青少年交換学生の小幡理沙さんの送り出し、米山奨学生の李徳雨さんの受け入れをはじめ、さらにルーヤンR. Cからの受け入れ学生Miss. Crystalをクラブとして支援することが決まりました。クリスタルは真面目で優秀な生徒で、将来マレーシアと日本の架け橋の役割を担ってくれるものと確信しています。

2つ目は友好クラブのマレーシアルーヤンR. Cの来日です。歓迎会はとても印象に残るものとなりました。アセアンの一角として発展を続けるマレーシアとは、日本としても将来仲良くする国であることは間違いありませんが、個人の集まりであるロータリークラブとしても、さらに友好を深めていきたいものです。

また環境委員会の蛍を鑑賞する会も、天候にも恵まれ蛍が乱舞し、水問題の大切さを再認識すると共に、ローターアクトの皆さん、李さんなどのゲストを迎え楽しい夕べの会となりました。

それ以外にも様々な活動がありましたが、時間の都合で割愛致します。1つだけふれますが、会員増強の問題です。いつも言われていますが、会員増強と退会防止は表裏一体です。魅力あるロータリークラブであれば、会員増強、退会防止につながることも間違いのないと思います。会社の事情で退会される場合は、残念ですが止むを得ないと思います。しかし時間が経って再入会を促すことも大切だということも忘れてはいけないと思います。現に退会される会員の中にも、落ち着いたら是非再入会したいと言っている方もおられます。会員増強につきましては嬉しいことに何人か候補者があがっていますが、これからも会員全員の力で増強に取り組んでいかなければならないと考えています。

最後となりますが、大過なく着岸出来て、飯田会長、西山幹事一年間お疲れ様でした。また、私は皆様方ご承知のように、次年度第4グループのガバナー補佐を務めることとなりました。自然体で和やかに役割を担っていく心構えでおります。しかし何せロータリーの知識については浅く、皆様方に多々ご迷惑をかけることと思しますので、どうぞ会員皆様方のご協力の程、宜しく願い申し上げます。

◆幹事 西山 潔



飯田会長のご指導の下、理事役員の皆様、各委員会の委員長のご尽力、そして会員の皆様方のご協力によりまして、1年間幹事という職務を何とか務めることが出来ました。ここに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度飯田会長の方針であります「調和」を念頭に置きまして、バランス感覚を失わない様に、会務を執行する様に常に心がけて参りました。上半期の報告に関しましては、新年挨拶で致しましたので、本日は下半期を振り返りたいと思います。

1月は新年挨拶により幕を開けました。年明けは年末の総選挙により自民党の大勝による政権奪還、そして巳年に期待する上昇、繁栄、幸福といった空気が満ち溢れていた様に記憶致しております。

2月に入りまして、2月1日に恒例の神奈川R.C・神奈川東R.C合同賀詞交歓会が開催されました。角田親睦委員長の提案により、アルパ演奏を余興に取り入れました。普段あまり馴染みのない楽器の音色に一同聞き惚れてしまい、両クラブを親密な関係に導く一助となりました。2月23日に金森社会奉仕委員長が中心となりまして、東日本大震災の復興支援を行っています七ヶ浜R.Cの20周年記念式典に参加し、慰霊碑建立の費用の一部50万円を贈呈して参りました。東日本大震災からの復興には相当な年月を要すると思われまますので、今後も継続した支援を行いたいと考えます。2月24日には菅田農道マラソンが開催され、新世代奉仕委員会より支援を行い、友添会員が完走されました。そして神奈川東R.CのPR活動に伊澤会員が大変貢献されました。

3月に入りまして、3月1日に国際奉仕・新世代奉仕委員会によるクラブフォーラムが開催されました。テーマは「マレーシア・ルーヤンR.C、台北滬尾R.Cとの今後の奉仕活動について」で、白鳥国際奉仕委員長が国際奉仕についての篤い篤い思いを語られました。3月7日は第4・第5グループのIMが開催されました。IMの中で東日本大震災被災地に対する支援活動について、加藤会員、江森会員より報告をして頂きました。その中でふるさと納税に関して他クラブからの問い合わせが多く、関心の高さが伺えました。3月22日にはマレーシア・ルーヤンR.Cの来日歓迎会が開催されました。歓迎会前にお茶会を設営し、また日本舞踊を披露され日本文化の一端を紹介出来たことは、吉田副会長と奥様の並々ならぬご尽力の賜物でありますし、心より感謝申し上げます。

また植田会員紹介によります獅子舞も異国情緒溢れる内容で、また子獅子による舞もルーヤンR.Cのメンバー、並びに奥様方を感動の坩堝へと誘った瞬間でした。

4月に入りまして、山田正憲副会長が中心となりましてクラブ奉仕クラブフォーラムが「魅力あるクラブづくりと会員増強について」というテーマで開催されました。山田副会長の教員時代を彷彿させる進行手腕に参加者一同感心させられ、大変活発な意見交換がなされました。また4月からルーヤンR.Cから受入学生として、Miss Crystalが来日しました。日本での就学並びに生活の支援を吉田副会長、青柳会員、加藤会員がされていますことに、心より敬意を表する次第であります。4月26日には台北滬尾R.Cの7周年記念例会に参加致しました。田邊会員には現地での交流に大変お世話になりました。そして白鳥国際奉仕委員長には大変な労力をお掛け致しました。

5月には恒例の春の家族会が開催されました。当日は悪天候の予想に反し時折強い日差しも差す位の天候にも恵まれ、ロマンの森共和国、いちご狩り、木更津アウトレットで楽しいひとときを過ごすことが出来ました。5月31日のインフォーマルミーティングでは、OWOP 会長 鈴木一男様、また石川正三会員よりスリランカ支援事業について卓話をして頂きました。時間の配慮が至らなかった為、満足な卓話が出来なかった点に関しまして、心よりお詫び申し上げます。そしてMiss Crystalにも、現在日本で勉強されています3Dアニメーションに関して卓話をして頂きました。その内容が大変高度で完成度の高さを魅せつけられ私は放心状態でした。是非この技術を我がクラブのホームページやPR等にも活用出来ればと思います。

6月に入りまして6月8日には植田環境委員長により、西山富太郎様庭園に於きまして、水資源の大切さを訴えようと、蛍観賞会が開催されました。参加者全員蛍の光で心が癒されました。そして本日はクラブ協議会にて1年間の活動報告が行われます。

最後になりますが、幹事として至らぬ点が多々ありました事を会員の皆様に心よりお詫び申し上げます。そして蔭で大変支えて頂きました江森会員、事務局の田中幸実様には筆舌に表せぬ程大変お世話になりました。会員の皆様の御指導、御支援、御協力に心より感謝申し上げます。1年間どうもありがとうございました。

◆会計 朝日 達夫



今年度は会社において税務調査、労務調査があるなど当たり年にて、仕事とロータリー活動のバランスがとれず、ご迷惑をおかけしました。また、みなとみらいの営業も暫定施設のため延伸契約を結ぶなど落ち着かない一年でもありました。

本日新しい施設がオープンしますが、今後みなとみらいの発展が大いに望まれるところです。

一年間、ご協力頂きありがとうございました。

ロータリーニュース

グローバル補助金を利用してグアテマラの小学校を支援

グアテマラにあるプロクシモス・パソス小学校には、今日も笑顔で元気な子どもたちが通学してきます。これも、ロータリー補助金の支援を受けた学校の1つです。

グアテマラ・スール・ロータリークラブ（ロータリー第4250地区）は、ロータリー財団の新しい補助金「グローバル補助金」を試験的に利用して、この小学校にコンピューターと豆乳製造機を導入しました。クラブ会員のホルヘ・アウフランクさんは次のように話します。

「子どもたちや先生だけでなく、まわりの地域社会にもよい影響が見られるようになりました。ロータリーのプロジェクトで、多くの人に喜んでもらっています」

この学校ではグアテマラのほかの学校と比べて格段に環境が改善され、きれいな水と栄養のある給食が得られるようになった生徒たちは、勉強にも集中出来るようになりました。また、豆乳をつくる過程で出来たおからを使って生徒たちがクッキーを焼くなど、二次的な学習効果もあります。

グアテマラ・スール・ロータリークラブが補助金を使って支援した学校はほかにもいくつかあります。クラブは、一番切実なニーズのある学校から支援を始めました。例えば、サンパゴにある9つの学校には、お手洗い、トイレ、キッチン用具、調度品などを提供しました。アウフランクさんによると、何よりも水が一番大切だといいます。

「水が不足している地域では、決まって争いが起きます。水がなければ、平和は望めません」

ロータリー4250地区が利用したロータリー財団の新しい補助金は、これまで3年間の試験期間を経て、2013年7月より正式に全ロータリー地区が利用出来るようになります。試験中に提供されたグローバル補助金は43口。グローバル補助金のほかにも、地区補助金とパッケージ・グラントをあわせた全3種類があります。

パートナーシップがカギ

グローバル補助金の大きな特長の1つは、ほかのクラブや他団体との協力です。グアテマラ・スール・クラブは、米国のロータリークラブ（6420地区と6440地区）に加え、「Mission Impact」「World Soy Foundation」といった外部の団体とも協力しました。プロジェクトの成功にこれらの団体との協力は不可欠であったと、アウフ

ランクさんは話します。

「地元と海外で、出来るだけ多くのロータリアンに協力してもらうことが大切です。“未来の夢”（新しい補助金モデル）は大規模な活動ばかりだと抵抗感を持つ人がいますが、地域社会に真の変化をもたらすには、もっと大きな視点をもって、みんなが協力する必要があります」

アウフランクさんは、今回のグローバル補助金プロジェクトを経験して以来、新しい補助金モデルを歓迎するようになったといいます。

クラブ同士の協力だけでなく、地元地域の人びととの協力も欠かせません。地元の人びとによるボランティア活動、また市民リーダーからの助言を受けて、真に実りある奉仕活動を行うことが出来ました。

「よいプロジェクトとは、持続可能なプロジェクトです。プロジェクトとその成果を持続させるには、地域社会の人々にも協力してもらう必要があります。最初から地元の人々が参加すれば、彼らはそのプロジェクトを“自分たちの活動”と考えて、積極的に参加し、その後もずっと活動を続けていくでしょう。私たちも、これをロータリーのプロジェクトではなく、地域社会のプロジェクトと考えるべきです」

プロクシモス・パソス小学校のミリナ・ペレズ校長も同様に、地域社会との協力を強調します。プロジェクト成功のカギは、ロータリーと地域社会が協同で活動にあたること、また柔軟性をもって、十分なコミュニケーションをとることだといいます。

「学校や地域社会に大きな変化をもたらしてくれたロータリーに心から感謝しています。私たちは環境改善のチャンスを探求していました。そのチャンスを与えてくれたのがロータリーです。このプロジェクトをきっかけに、私たちも全力で活動を続け、成果を持続させていきたいと思っています」



ロータリー・ニュース

次回《7月5日》の卓話予定

新年度挨拶

会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計